

家庭教育學級新聞

なるとうこども園第 5 回家庭教育学級

「子どもの心に届くほめ方、叱り方」 12/20(金)

親業訓練シニアインストラクター

白石 仁美 先生



《先生の講演から》



- 親の微笑みは子どもへの大きなギフト
- 思春期など言葉が使えない時は、好物を作って食べさせることも有効
- 子どもが困ったり怒ったり悩んだりしている時は、子どものペースにあわせて気持ちを聴いてあげる
- 傷ついた時、いつまでも同じことを言うのは、立ち上がるために必要なこと



親業は米国の臨床心理学者トマス・ゴードン博士によって開発された親教育プログラムで親業訓練協会から提供されます。親業訓練協会で認定されたインストラクターによる「親としてどうしたらうまく子どもを育てられるか」という学びのプログラムです。講演会で学ぶだけでなく、訓練して家庭でできるようにするのが目的です。山武市では旧成東町で開催していたものを、合併当初から取り入れており、参加者からは毎回大好評です。毎年、講演会のほか入門講座も開催していますので、裏面で紹介します。今回、三名の親業インストラクターが、同じ「親業」をそれぞれの特徴を生かして伝えてくれています。

最初に、なるとうこども園の家庭教育学級で「家庭の教育力を高めるための研修会」として親業を取り上げていただきましたのでご紹介します。

「親業」
特集号



リレーコラム第十回
我が家の子育て

山武市立松尾小学校教頭 丸尾 剛彦



我が家には現在二十二歳の長男を頭に、二十歳の次男、十八歳の長女、十六歳の三男の四人の子どもがいます。社会人になった子はいないので、まだ「子育て中」と言えるのですが、かなり親の手を離れたなあと感じます。



教員とはいえ自信や明確な目当てを持つて子育てをしたというよりも、その時できることをそれなりにやってきたという方が正しいです。こんな家庭もあるのだな、ということを読んで頂ければと思います。

地域の方々・環境に助けられた

住まいは九十九里町で、私も家内も転居組
 です。結婚当時は、家内は誰も見つかるま
 いで、非常に心細かったです。仕事をやめたので
 長男が生まれてからは、仕事をやめたので
 すが、それが心細さを紛らわすために散
 歩が日課になりました。そこで、あまり人見
 知りと合わない家内は、道々、近所の農家の方々
 校に通うようになり、子どもたちも学
 校と挨拶のやりとりをするようになりました
 方々。散歩途中のつながりをするようになって
 たち。成長を見守ってくで、その後の子ども
 当に有難いことだと思っています。
 らは、我が家の東側は田んぼで、子ども
 らは走り回ったり、穴を掘って飛び越したり、
 集めた刈草に古シートをかぶせて、ハイジの
 ベッドと遊んだりしていました。成東総合
 運動公園のジャンボ滑り台や、さんぶの森公
 園もお気に入りの野性・感性を刺激するすば
 らしい施設・環境がたくさんあります。その中
 で、幼少時を伸び伸びと過ごせたことはとても
 幸せだったと思います。

笑いと歌声

家内は福井生まれで、吉本のお笑い番組が大好きです。歌うのも好きで、子どもの頃の歌謡曲やテレビまんがの主題歌を今でも結構覚えています。

そんなところから、子どもが小さい頃の我が家は笑いと歌声が絶えませんでした。

お蔭様で、うちの子どもたちはさしたる病氣もせず、健康に育ちました。「笑う門には福来る」と言いますが、小さい頃にお腹を思い

※このコーナーは、リレー形式で順次自分の子育てについて、エピソードや思うことなど気ままに書いていただく予定です。お楽しみに。

つきり使うのは、体にも気持ちにも良かったの
 かもしれせん。

親の不一致も、子の救い

私と家内は、生まれも育ちも職業も違ひます。共通点は二人とも兄弟が多かつたという事ぐらいでしょうか。でも、その凸凹コンビぶりが、子どもの救いになつた部分があるようです。娘が中学のとき学習につまずいて悩んだ時期がありました。ある時、急に吹つ切れたように娘が言いました。「父ちゃんの子もだから勉強できないや、と思つていたけど、ふと気がついたら母ちゃんの子でもあるので急に気が楽になつた。」その後はマイペースで楽しく学校生活を送つていました。

「不一致」は「選択の幅」でもあると思います。夫婦といえども元は他人。多少の食い違ひは当たり前と思えばチャンスに変わると思ひます。

みんな違って…過渡期が終わればみんな良い

四人の子どもたちは、小さい時こそ一緒に仲良く遊んでいましたが、大きくなった今では、それぞれ「自分の分野・領域」ができて、時には批判・大喧嘩をしています。見ていて寂しくもありますが、これもそれぞれの自立への道かなと思つて、見守つています。親に反発する時、も、言つてゐる内容に「不公平な扱い」への怒りが感じられるので、これも寂しさの裏返しかな、と受け止めるようにしています。

法隆寺の修理を指揮した西岡常一という棟梁の書いた本に、次のようなくだりがあります。二千年の風雪に耐える建物を造るには、使う材木を山ごと買う。建物の南側の材木は、山の南に生えていた木を使うというように、部材を使う方角は東西南北それぞれ生えていた方に合わせる。それが木の特性を十分に發揮させ、建物の長持ちにつながる。」



家族も社会も同じで、逆境に強くあるためには等質な組合せより、異質な組合せの方が良いでしょう。色々な家族・色々な子育てがあつて当たり前だと思えます。お互いに認め合い、分かち合つて生活できれば、それぞれが自信を持つて、元気に自分流の子育てをしていけば良いと思います。



あなたの愛が子どもに伝わっていますか。あなたは子どもを本当に理解していますか。子どもはあなたが好きですか。



感情に任せて叱ってはいませ

怒鳴るのではなく、『私メッセージ』で、親の気持ちを伝えることが効果的！

例えば「早くご飯を食べなさい！」ではなく「早く食べてくれないと、片付かなくて困るの」と、私がどうなのかを言うことで子どもの自尊心が保たれ、自発的に行動を変えてくれる可能性が生まれます。



親業を知る

親業の内容・目的

- ◆ 親業は、親子に本当の気持ちが伝わり、心が素直に通じ合うようにするもので、それが実際にできるようにするのが親業訓練講座です。
- ◆ 内容としては、3つの基本的な方法を身につけることです。
 1. 聞くこと・・・子どもの気持ちを聞いて受容し子どもが心を開いて本当の気持ちを親に話せるようにします。そして、子どもが自分の問題を自分で解決できるように手助けします。
 2. 親の気持ちを話すこと・・・親の知恵を一方向的に押し付けることなく、親が自分の気持ちを率直に伝えます。
 3. 対立を解く・・・親子の気持ちがそのままでは折り合わないような場合、話しあって両方が満足する解決法を見つけます。



親子関係がグッと良くなる、人間関係にも使える親業をぜひ体験しよう

山武市教育委員会主催で毎年開催している講座

* 参加費無料 *

* 託児付き *

親業訓練入門講座（年1回開催）

「その言葉、子どもの心に届いていますか？」

入門講座は、3時間の講座を2日間にわたって行う全6時間の講座です。テキストを使って親業訓練についてしっかり学び、身につけられるように練習していきます。親業講座3回終了後に開催します。

親業訓練インストラクター

齋藤 ひとみ 先生



「家では・・・なんですよ」など、みんなで話し合う場面も

ご案内

新年度、親業講座は豊岡小(6/25 水)・むつみのおか幼稚園(10/7 火)・鳴浜小(10/15 水)で実施します。参加は会場の小学校・園の保護者のほか市内どこからでもどなたでもOKです。時期が近くなりましたらチラシや広報紙、HPでお知らせします。

親業講座（年3回開催）

「子どもの気持ちの上手な聞き方」



親業の講演会です。2時間の講座で親業を具体的に理解できるようにしています。これで興味を持って入門講座に進む方も多くいます。



ロールプレイで気持ちの聞き方、伝え方を体験する受講者

親業訓練シニアインストラクター

内田 桃紀代（ともよ）先生



《参加者アンケートから》

- ・言葉の大切さ、気持ちをくむ大切さがわかった
- ・親子だけでなく色々な場面で効果的に使える
- ・3姉妹の子育ての悩みに解決の糸口が見つかった
- ・いかに子どもに怒って接していたか反省した

この冬は全国的に大雪に見舞われました。山武市は広いので、雪のところもあれば雨だったところもあったようですね。

さて、今回特集した「親業」ですが、親業講座は現在、家庭教育学級として幼稚園・こども園・小中学校を会場として年間3回、地域的なバランスをみながら会場を決めて実施しています。家に帰って子どもと向き合った時すぐに役立つ内容をお伝えしています。また、入門講座では、子どもに対する具体的な聞き方や話し方の練習の時間が親業講座より充分にあり、より実践的になっています。毎回実施する終了後のアンケートでは、両講座とも「大変よかった」という声が多数寄せられていますので、新年度開催予定の小学校・幼稚園の保護者の皆さまはもちろん、他校・他園に在籍の保護者の皆さまも奮ってご参加ください。



担当 加瀬

